



HANA 奥武蔵の花

施設隣接型小中一貫校 奥武蔵創造学園

飯能市立奥武蔵中学校
学校だより 第8号

令和3年10月26日

校長 岡野 民嗣

体育祭迫る

11月6日に(土)に開催される第3回体育祭(昨年度の第2回は中止として代替行事の「全校体育の日」が行われました。高校野球の甲子園大会などでも昨年度の大会は中止として回数をカウントしていただきましたので、それに倣いました)に向けて取り組みが本格化してきました。

本年度は引き続き感染防止対策をとる関係で、ご来賓の招待はなく、半日の開催となりますが、保護者のみなさまにご観戦いただき、体育祭として開催できることに喜びを感じます。体育祭が近づいてきた生徒達の様子を見てもやはり学校生活に潤いを与える大切な行事だと実感しています。

10月19日に行われた奥武蔵小学校の運動会ではコラム欄にも書いたとおり小学生の頑張る姿に元気をもらいました。やはり6年生は最上級生らしく、それぞれの団のリーダーとして先頭に立ってリードしていました。下級生達もその姿について行くと共に憧れを持って見ていたように感じました。

中学校の体育祭において、私がいつも感じているのは体育祭という行事は練習から本番を終えるまでの生徒の成長度合いがものすごく大きい学校行事であるということです。1年生は最初は上級生について行く状態なのが体育祭を迎える頃には本当に中学生らしいたくましさが出てきます。2年生は3年生の姿を見てリーダーとしてのあるべき姿を学び、3年生はまさにリーダーとして活動することを通して、学校の真のリーダーとしての自覚と行動が身についてきていると感じています。吾野中にお世話になってから奥武蔵中になっても、その伝統は絶えることなく、生徒の成長のために体育祭はなくてはならない行事だと感じています。そして解団式では勝利した団の結束はもちろん、特に負けた団の3年生には過去にもたくさんの涙が見られ、このことが団結をより強めた印象があります。それが学校の団結や伝統にもつながっていると感じているのは私だけではないと思います。

小学校には小学校の良さ、中学校には中学校の良さがあります。もちろん合同でやる良さもたくさんあります。合同でやれば中学生が小学生の面倒を見たりなど微笑ましい風景がたくさんあることでしょう。地域や保護者の方もそれを望んでいるかもしれません。しかしながら小学校の運動会を見て改めて小学校の運動会の良さを感じるとともに、この中に中学生が入ったらお互いの良さを消してしまうのではないかという思いも浮かびました。

上に書いたとおり、体育祭の子どもを伸ばす教育的価値ははかりしれないものがあります。教育者として生徒達のこの貴重な大きな成長の機会を大人の都合で奪って良いものかと考えています。しかしながら、生徒数の減少や小中一貫校であることなどを考えるとこのままで良いのかという思いがあることも確かです。皆様もご意見がありましたら校長までお聞かせください。

HANAコラム

小学校運動会

10月19日の小学校の運動会にお邪魔しました。当日は小雨もばらついた肌寒い日でしたが、小学生達の元気いっぱいな姿、それを支える先生方、見守る保護者の皆様に元氣と感動をいただきました。中学校長の立場からこの場に中学生がいたらどうなるのだろうかということも空想しながら見ていました。確かに賑やかになるだろうと思いますが、頑張っていた高学年のリーダー達の姿がどうなるのだろうか、などと思いを巡らせていました。

